

単元末練習問題一覧表（中学校 第2学年）

「全国学力・学習状況調査」の問題と、教科書教材の指導事項が対応した一覧表です。

単元末の練習問題などで、活用できます。

※表の見方

- (1) 見出しの「領域」「学年」「指導事項」は、『中学校学習指導要領 国語編』です。
- (2) 「過去問題」は、「全国学力・学習状況調査」です。平成24年度～平成27年度を示しています。
□囲みの問題は、熊本県の正答率が60%以下のものです。例：A1二…A問題の1の二
- (3) 「教科書教材」は、県内で採択されている教科書について示しています。

東 東京書籍 三 三省堂 光 光村図書

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材
			H24	H25	H26	H27	
A 話す・聞く	第2学年	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。		A6一			東「話し合いで考えを広げよう」 三「プレゼンテーションをしよう」 光「印象に残る説明をしよう」「話し合って考えを広げよう」「身近な人の『物語』を探る」
		イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。		A6二			東「説得力のある提案をしよう」 三「パネルディスカッションをしよう」 光「印象に残る説明をしよう」「話し合って考えを広げよう」
		ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	A1一		A1一	B1一	東「説得力のある提案をしよう」 三「プレゼンテーションをしよう」 光「印象に残る説明をしよう」
		エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	B1二				東「聞き取って吟味しよう」 三「論理を追って聞こう」 光「要点を整理して聞き取ろう」「相手の立場を尊重しよう」「話し合って考えを広げよう」「身近な人の『物語』を探る」
		オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。			A6一		東「話し合いで考えを広げよう」 三「パネルディスカッションをしよう」 光「相手の立場を尊重しよう」「話し合って考えを広げよう」
B 書く	第2学年	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。			A7一		東「調べて考えたことを伝えよう」 三「意見文を書こう」「事典をつくろう」 光「説明の仕方を工夫しよう」「モアイは語る」「立場と根拠を明確にして書こう」「身近な人の『物語』を探る」
		イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	A2一 A5一			A7一	東「調べて考えたことを伝えよう」「反対意見を想定して書こう」 三「意見文を書こう」「物語をつくろう」 光「枕草子」「説明の仕方を工夫しよう」「新しい短歌のために」「気持ちを込めて書こう」「人物の特徴をとらえて論じよう」「立場と根拠を明確にして書こう」「走れメロス」「表現のしかたを工夫して書こう」「身近な人の『物語』を探る」
		ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	A5二 B1三 B2二 B2三	A3二 B3三	A2一	A7二 B2三	東「短歌のリズムで表現しよう」「反対意見を想定して書こう」「いきいきと描き出そう」 三「読書感想文を書こう」「意見文を書こう」「見られる側の言い分」「事典をつくろう」「この人を語る」 光「枕草子」「説明の仕方を工夫しよう」「発表資料を工夫しよう」「新しい短歌のために」「言葉を選ぼう」「気持ちを込めて書こう」「モアイは語る」「走れメロス」「表現のしかたを工夫して書こう」「身近な人の『物語』を探る」
		エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	A2二	A3一 A7一	A2二		東「依頼状やお礼状を書こう」 三「手紙文を書こう」「この人を語る」 光「立場と根拠を明確にして書こう」「身近な人の『物語』を探る」
		オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。			A7二 B1三		東「いきいきと描き出そう」 三「読書感想文を書こう」「見られる側の言い分」「物語をつくろう」 光「言葉を選ぼう」「人物の特徴をとらえて論じよう」「立場と根拠を明確にして書こう」
C 読む	第2学年	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。			A5一		東「木とともに人とともに」「伝えたいと思うから」「短歌を楽しむ」「落葉松」「恥ずかしい話」「わたしが一番きれいだったとき」 三「短歌の世界」「循環型社会」とは何か 光「明日」「アイスプラネット」「新しい短歌のために」「短歌十二首」「盆土産」「字のない葉書」「君は『最後の晩餐』を知っているか」「走れメロス」
		イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	B2三	A2二 B1二	A3三 A5二 B3二	A3三	東「字のない葉書」「卒業ホームラン」「食の世界遺産-鯉節」「走れメロス」 三「壁に残された伝言」「蒼いみち」「平家物語」 光「アイスプラネット」「枕草子」「やさしい日本語」「新しい短歌のために」「短歌十二首」「盆土産」「字のない葉書」「君は『最後の晩餐』を知っているか」「扇の的」「仁和寺にある法師」「モアイは語る」「走れメロス」
		ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。			B1三	B3二	東「短歌を楽しむ」「恥ずかしい話」「走れメロス」 三「『循環型社会』とは何か」「大阿蘇・わたしを束ねないで」 光「優しい日本語」「君は『最後の晩餐』を知っているか」「漢詩の風景」「モアイは語る」「走れメロス」「言葉の力」
		エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。			B1二 B3三		東「字のない葉書」「卒業ホームラン」「食の世界遺産-鯉節」「恥ずかしい話」「情報検索で開ける世界」「わたしが一番きれいだったとき」 三「坊っちゃん」 光「走れメロス」「日本人はアリスの同類だった」「小さな手袋」 光「アイスプラネット」「枕草子」「やさしい日本語」「メディアと上手に付き合うために」「気になる『あの人』を探ろう」「字のない葉書」「君は『最後の晩餐』を知っているか」「扇の的」「仁和寺にある法師」「モアイは語る」「言葉の力」
		オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。			B2三	A5一 B2三	東「小さな労働者」「神奈川沖浪裏」「情報検索で開ける世界」 三「日本語メガネのかけ替え」 光「メディアと上手に付き合うために」「気になる『あの人』を探ろう」「旅する絵描き」「五重の塔はなぜ倒れないか」

【中学校 第2学年】

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材
			H24	H25	H26	H27	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第2学年	(1)ア(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。			B3		東「枕草子」「平家物語」「古典芸能に親しもう」「漢詩」 三「枕草子・徒然草」「漢詩の世界」「平家物語」 光「音読を楽しもう」「扇の的」「仁和寺にある法師」「漢詩の風景」「人物の特徴をとらえて論じよう」
		(1)ア(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。			A8五 2 B3二	A9七 1	東「枕草子」「徒然草」「平家物語」「漢詩」 三「枕草子・徒然草」「漢詩の世界」「平家物語」 光「扇の的」「仁和寺にある法師」「漢詩の風景」「人物の特徴をとらえて論じよう」
		(1)イ(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。	A4二 A7三 アイウ エオ A7五	A8五 12	A8三 オ	A9三 ウ	東「共通語と方言」「敬語」「話し言葉と書き言葉」 三「話し言葉と書き言葉」「敬語の意味と種類」「方言と共通語」 光「言葉2」「漢字3」
		(1)イ(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。	A7四 アイ A7七 1	A8三 アウ	A8三 ウ A8四	A9三 アカ	東「類義語・対義語」「多義語」「同音異義語」 三「国語辞典の活用」「さまざまな意味」「熟語の構成と意味」「さまざまな熟語の読み」 光「言葉1」「言葉を選ぼう」「漢字2」
		(1)イ(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。		A8六			東「曖昧な文・分かりづらい文」 三「文の成分の順序と照応」 光「一年生の復習」
		(1)イ(エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。					東「用言の活用」「助詞」「助動詞」 三「用言の活用」「助詞・助動詞のはたらき」 光「文法への扉2」「文法への扉3」「一年生の復習」
		(1)イ(オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。					東「話し言葉と書き言葉」「依頼状やお礼状を書こう」 光「説明のしかたを工夫しよう」「要点を整理して聞き取ろう」
		(1)ウ(ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。	A7二 1～3	A8二 1～3	A8二 1～3	A9二 1～3	東「形の似た漢字」「漢字の意味」「同訓異字」「同音異義語」「新しい常用漢字」 三「漢字を使いこなそう」「漢字を身につけよう」 光「漢字1」「漢字2」「漢字3」「漢字の練習」
		(1)ウ(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	A7一 1～3	A8一 1～3 B3三	A8一 1～3	A9一 1～3	東「形の似た漢字」「漢字の意味」「同訓異字」「同音異義語」「新しい常用漢字」 三「漢字を使いこなそう」「漢字を身につけよう」 光「小学校六年生で学習した漢字」「小学校六年生で学習した漢字の一覧」